

2011. 7. 28

第29回 研究発表会

観光活動促進施策に関する研究

運輸政策研究所・前研究員
奥山忠裕

本日の流れ

1. 研究の背景と目的
2. 観光をしない理由とは何か？
3. 観光活動促進要因の分析
4. 本研究のまとめ

1. 研究の背景と目的

若年層の観光活動の減少

観光の実態と志向(国民の観光に関する動向調査)

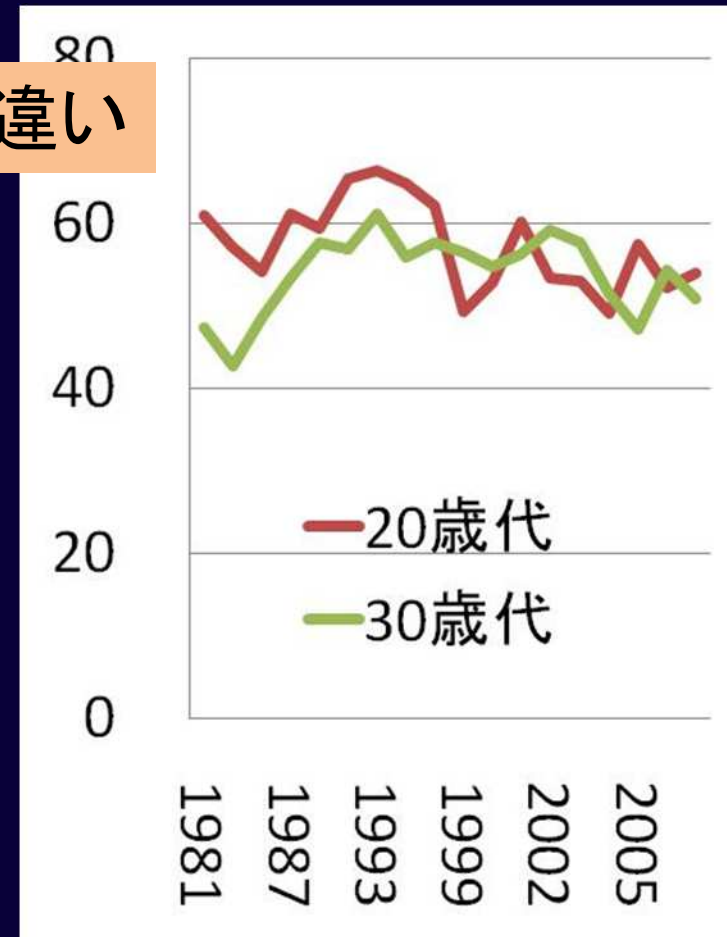
男性

女性

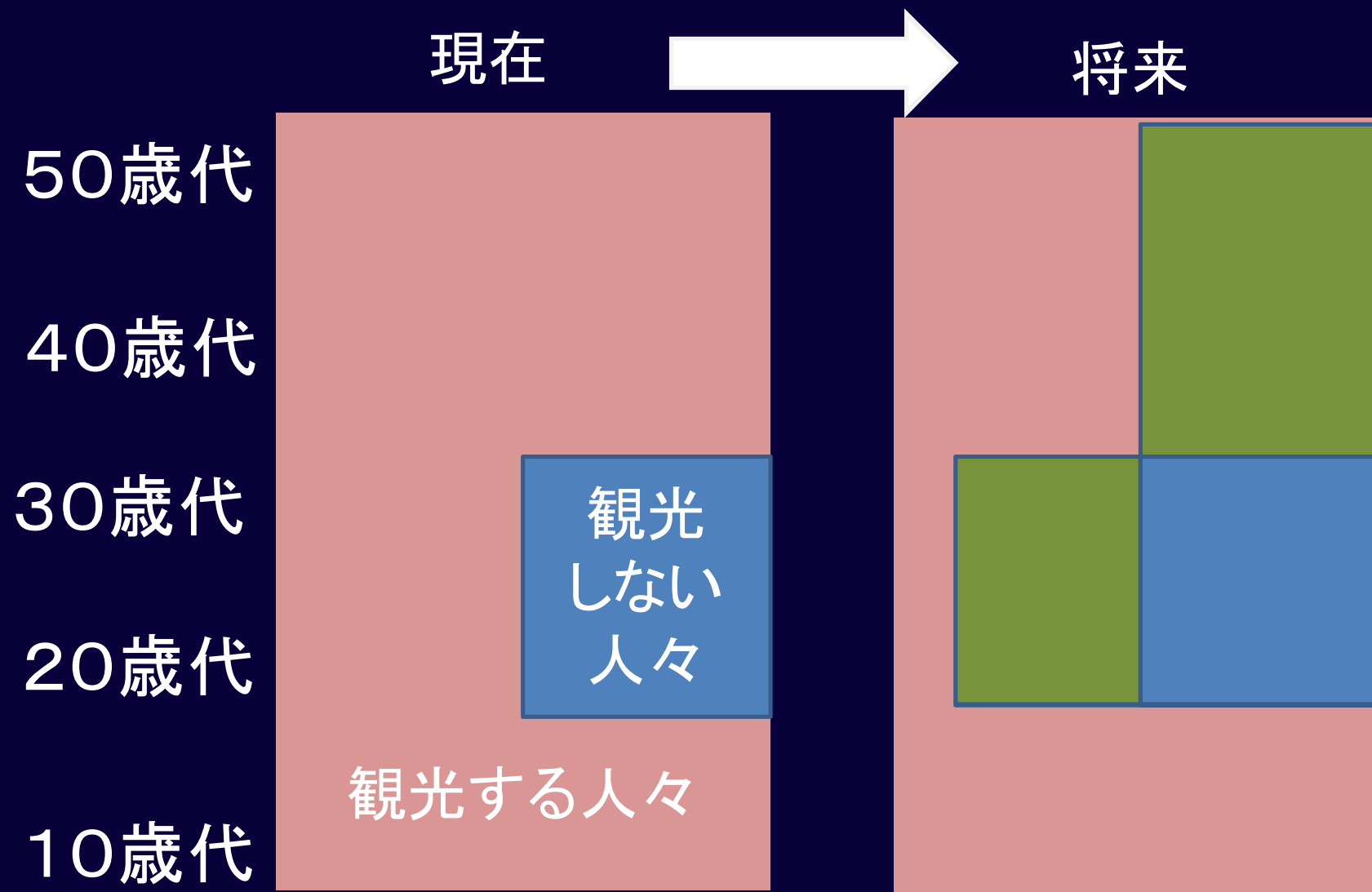
観光への参加者の平均割合(%)



調査年



調査年



『将来的な観光人口の大幅な縮小』

➡ 観光をしない人の特性の分析→改善

2. 観光をしない理由とは何か？

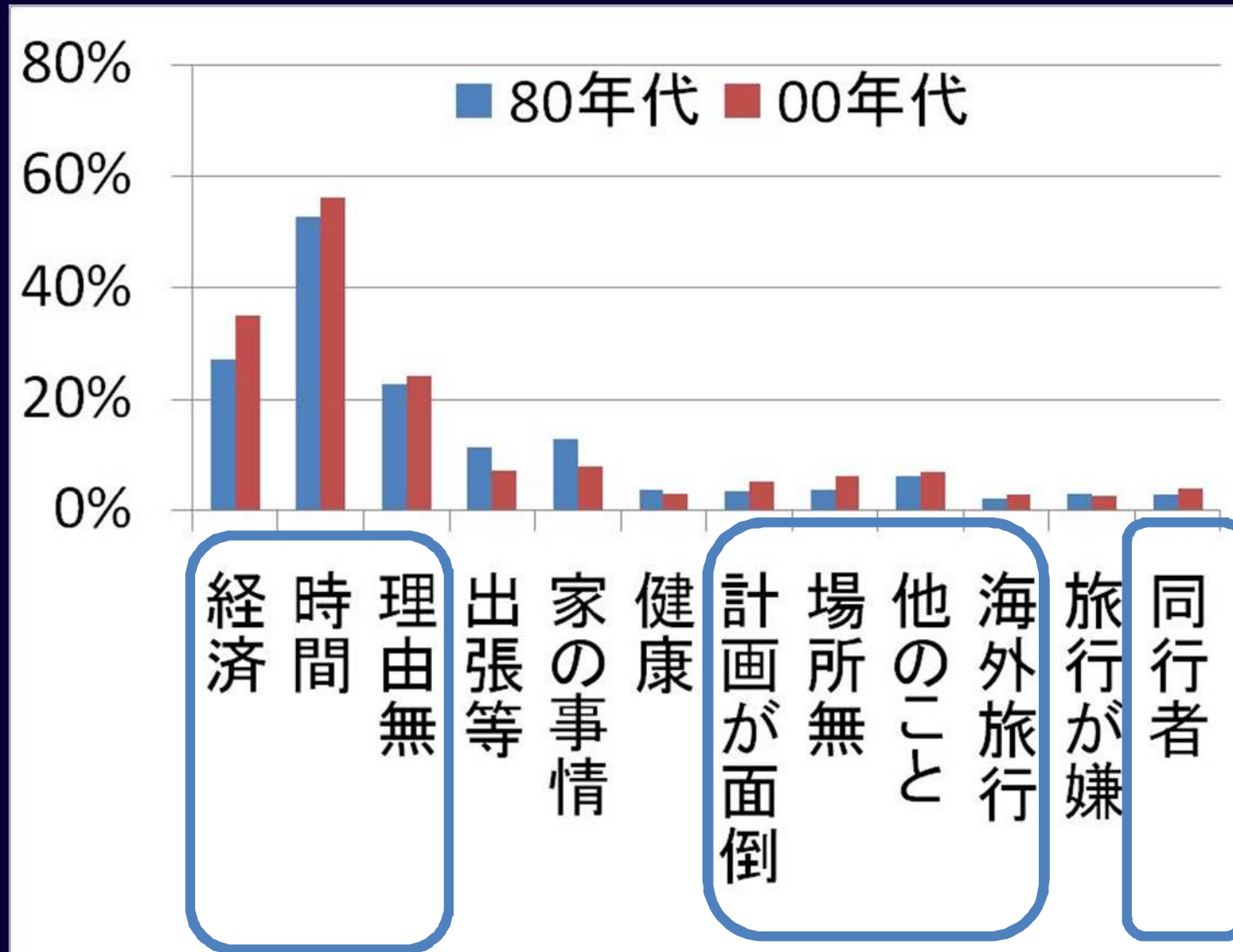
観光の実態と志向：宿泊観光をしなかった理由

「この1年間に泊まりがけの国内観光旅行をしなかったのはどのような理由からですか」

【経済】	経済的余裕がないから
【時間】	時間的余裕がないから
【理由無】	なんとなく旅行しないまま過ぎた
【出張】	出張・帰省・訪問等で観光したから
【家】	家を離れられない事情があったから
【健康】	健康上の理由で
【計画】	計画や準備が面倒だから
【場所無】	行きたいと思うところがないから
【他のこと】	他にやりたいことがあるから
【海外】	国内旅行より海外旅行がしたいから
【嫌い】	旅行は嫌いだから
【同行者】	一緒に行く人がいないから

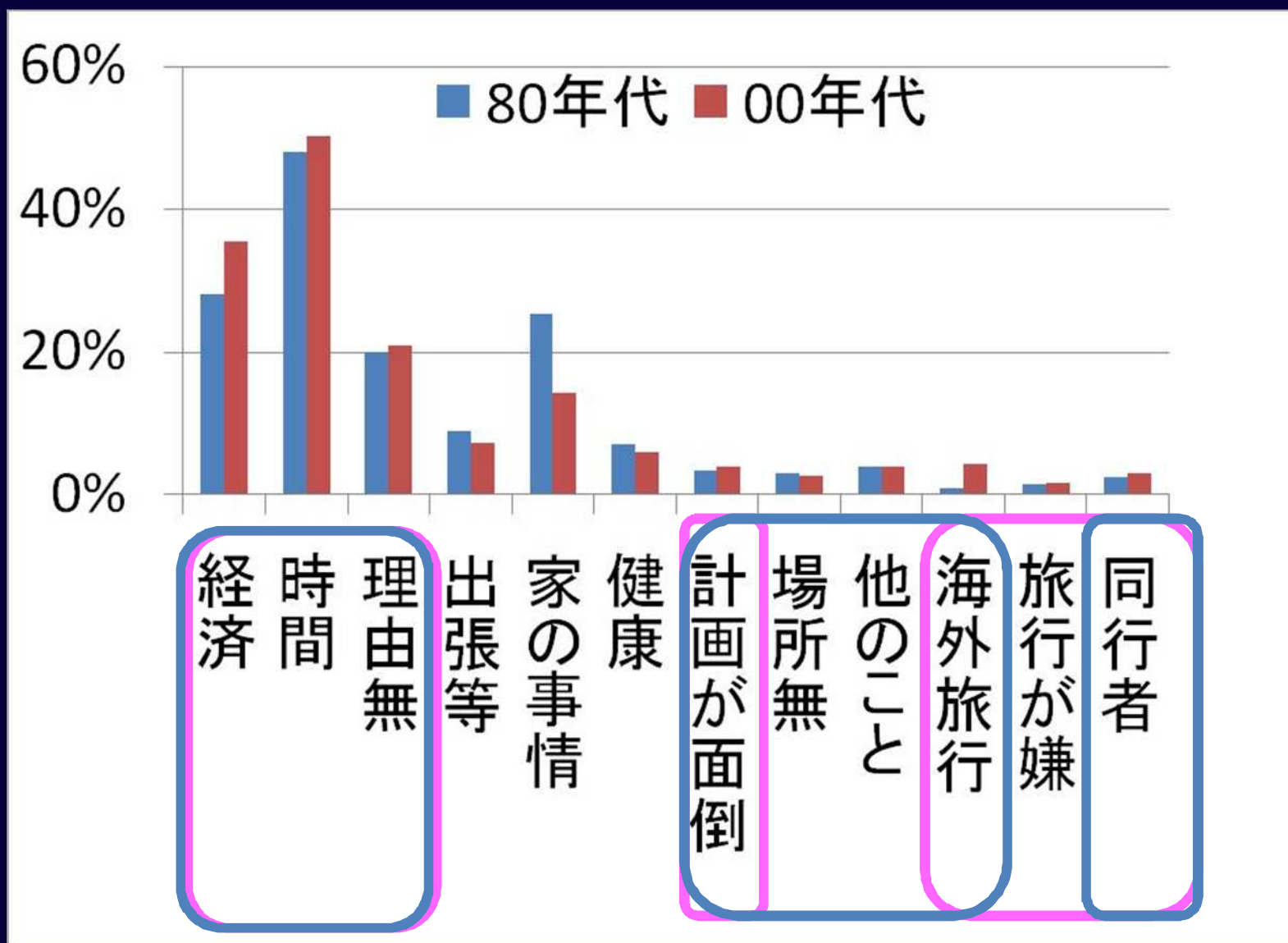
20－30歳代の男性の場合 (男性)

回答者の割合(%)



20－30歳代の女性の場合

回答者の割合(%)



3. 観光活動促進要因の分析

3. 1 分析過程

3. 2 利用データの概要

3. 3 観光活動促進要因の分析

(1) 経済的問題

(2) 時間的問題

(3) 理由無という問題

(4) 同行者の問題

(5) 計画が面倒という問題

3. 1 分析過程

■ 個票データ

- ・利用データの概要：全体的な傾向

■ 個別要因の分析

分析1. 観光活動減少要因（観光が減った理由）

- ・観光しない人特有の問題か？

→「観光する人／観光しない人」への影響の確認

分析2. 観光活動促進要因（観光を増やす理由）

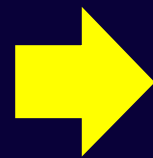
- ・観光する人／観光しない人への影響

～特徴的な影響について探索

3. 2 利用データの概要

国民の観光旅行の動向と課題に関する分析 (平成21年観光白書・観光庁)

■調査対象：全国調査3090名



本研究では、20～30歳代に限定

■時期：2008年

■調査内容(例)

- ・現在の観光回数
- ・過去の観光活動の状況
- ・観光活動が減少した理由
- ・観光活動の増加要因
- ・過去、現在の休暇の過ごし方
など・・・

■観光する人／しない人の区別

『現在、国内での泊りがけのお出かけ(出張・業務、帰省を除く)には年に何回行っていますか。』

⇒観光する人

1回以上の回答者 & 20～30歳代の男女別

標本数

男性		女性	
観光する人	観光しない人	観光する人	観光しない人
848人	484人	1075人	511人

以下、集計の際の分母はこの標本のみを用いる
(いくつかの集計結果では注意する)

分析1. 観光が減った理由

(2003年から2008年の5年間で)では、国内での泊りがけのお出かけ(出張・業務を除く)の回数が減った方におうかがいします。**回数が減った理由は何でしたか。**

【所得】 お金に余裕が無くなって回数が減った⇔**経済**

【休暇】 休暇が減って回数が減った ⇔**時間**

【配偶者】 配偶者と休日が重ならなくなって回数が減った

【子供】 子供と休日が重ならなくなって回数が減った

【友人】 一緒に行っていた友達と休日が重ならなくなって回数が減った

行きたいと思うところがなくなって回数が減った

自身や家族の健康上の理由で回数が減った

【趣味】 趣味が変わって回数が減った⇔**理由無**

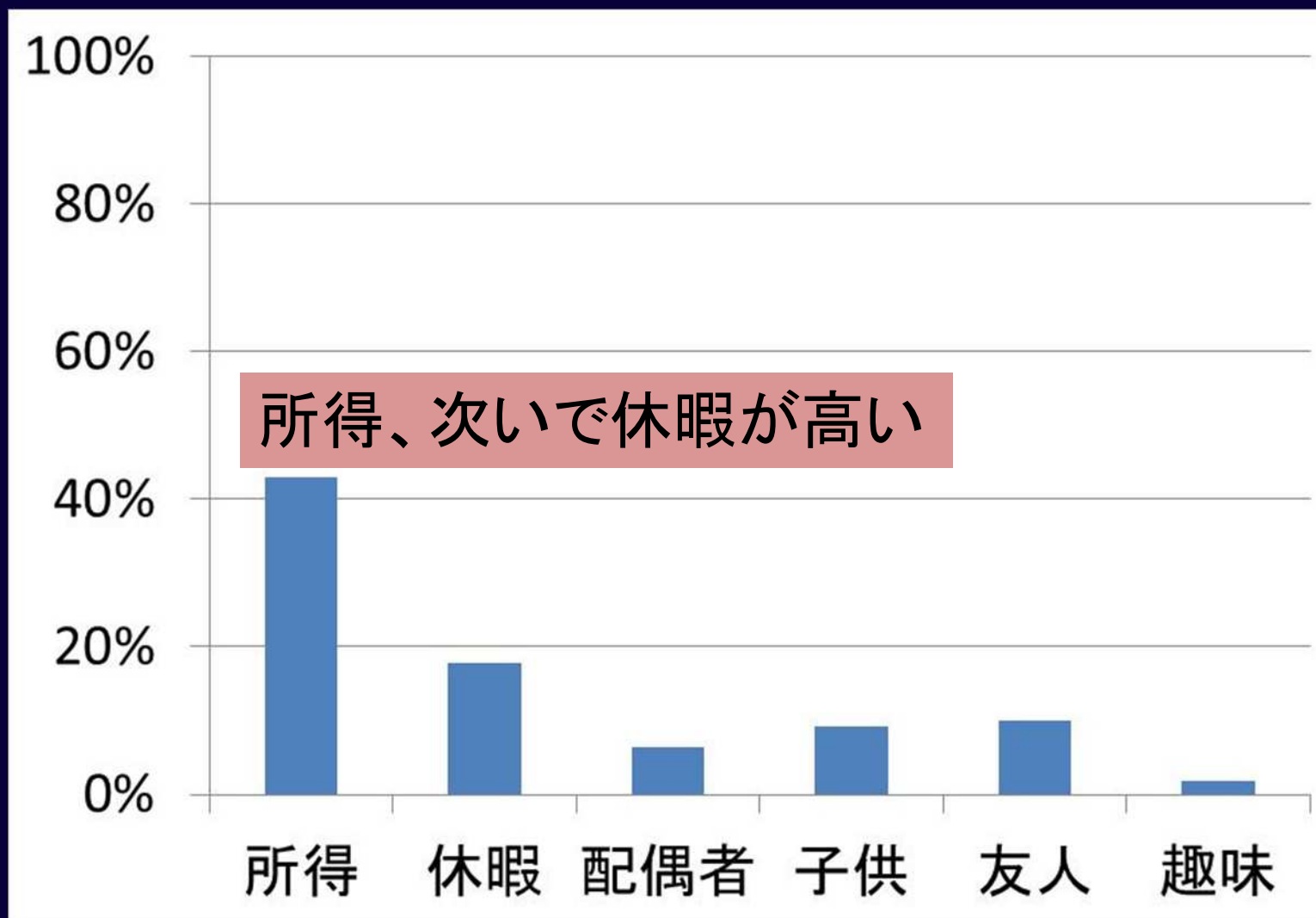
など...

同行者
婚・未婚の区別
(全体傾向既
はしない)²

* 計画性に関する質問なし

20～30歳代の全体的な集計結果 (* 観光する／しない & 男女の区別なし)

回答者の割合(%)



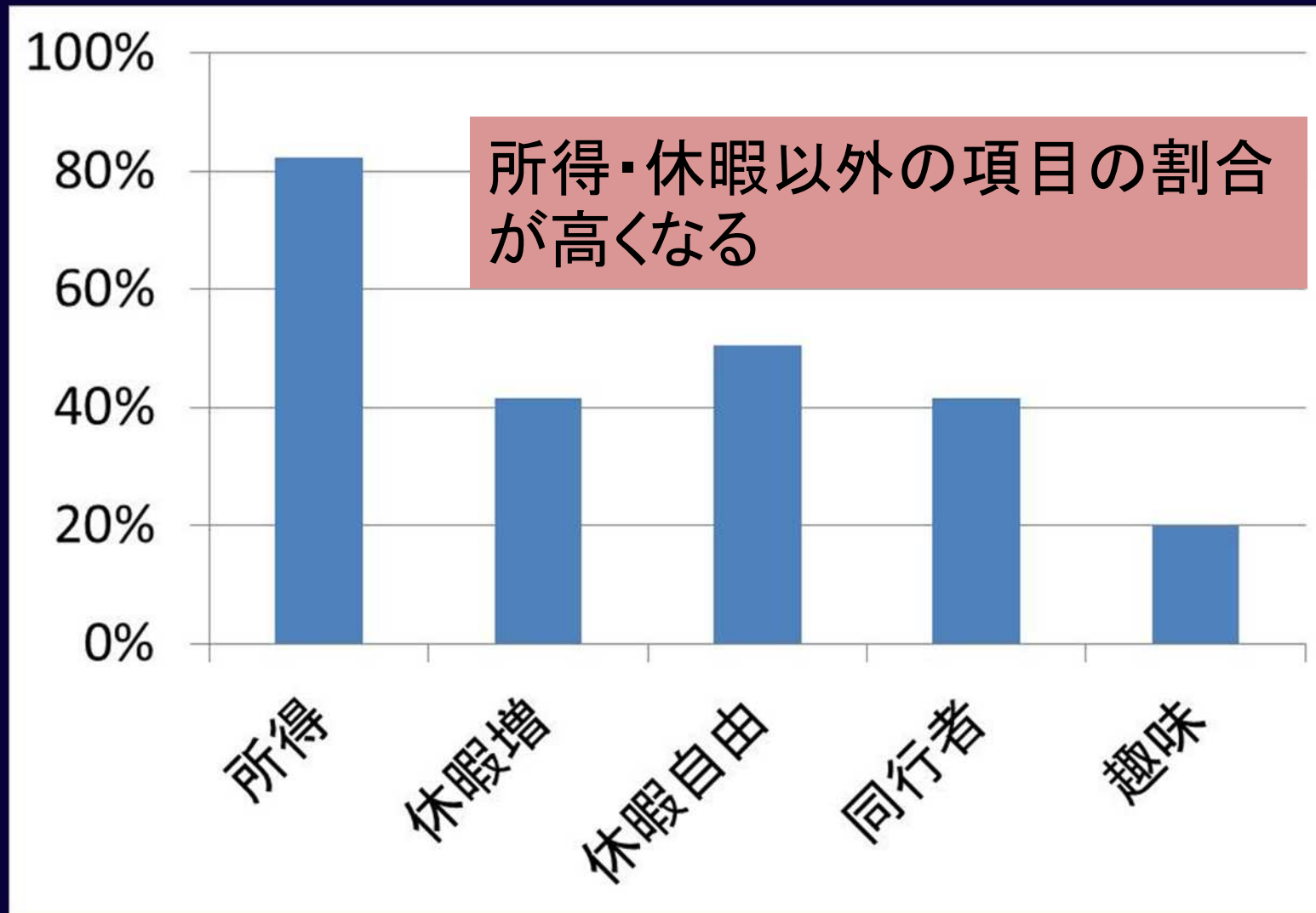
分析2. 観光を増やす理由

以下の項目を組み合わせ、国内の泊りがけのお出かけ(出張・業務、帰省を除く)を【年間にあと1回増やす】ための条件を揃えてください。

- | | | |
|--------|-------------------------|------|
| 【所得】 | 所得が増えること⇔経済 | |
| | 仕送りが増えること | |
| | 旅行の費用が下がること | |
| 【休暇増】 | 休暇が増えること | } 時間 |
| 【休暇自由】 | 休暇が自由に取れること | |
| 【同行者】 | 一緒に行く人と都合が合うようになること⇔同行者 | |
| 【趣味】 | 自分の趣味を行うためのよい場所がある | |
| | ・見つかること⇔理由無 | |
| | 知識、資格などが身につく旅行ができること | |
| | 何か体験できる旅行や観光地が増えること | |
| | 繰り返し行きたいと思える観光地が増えること | |
| | など | |

20～30歳代の全体的な集計結果 (* 観光する／しない & 男女の区別なし)

回答者の割合(%)

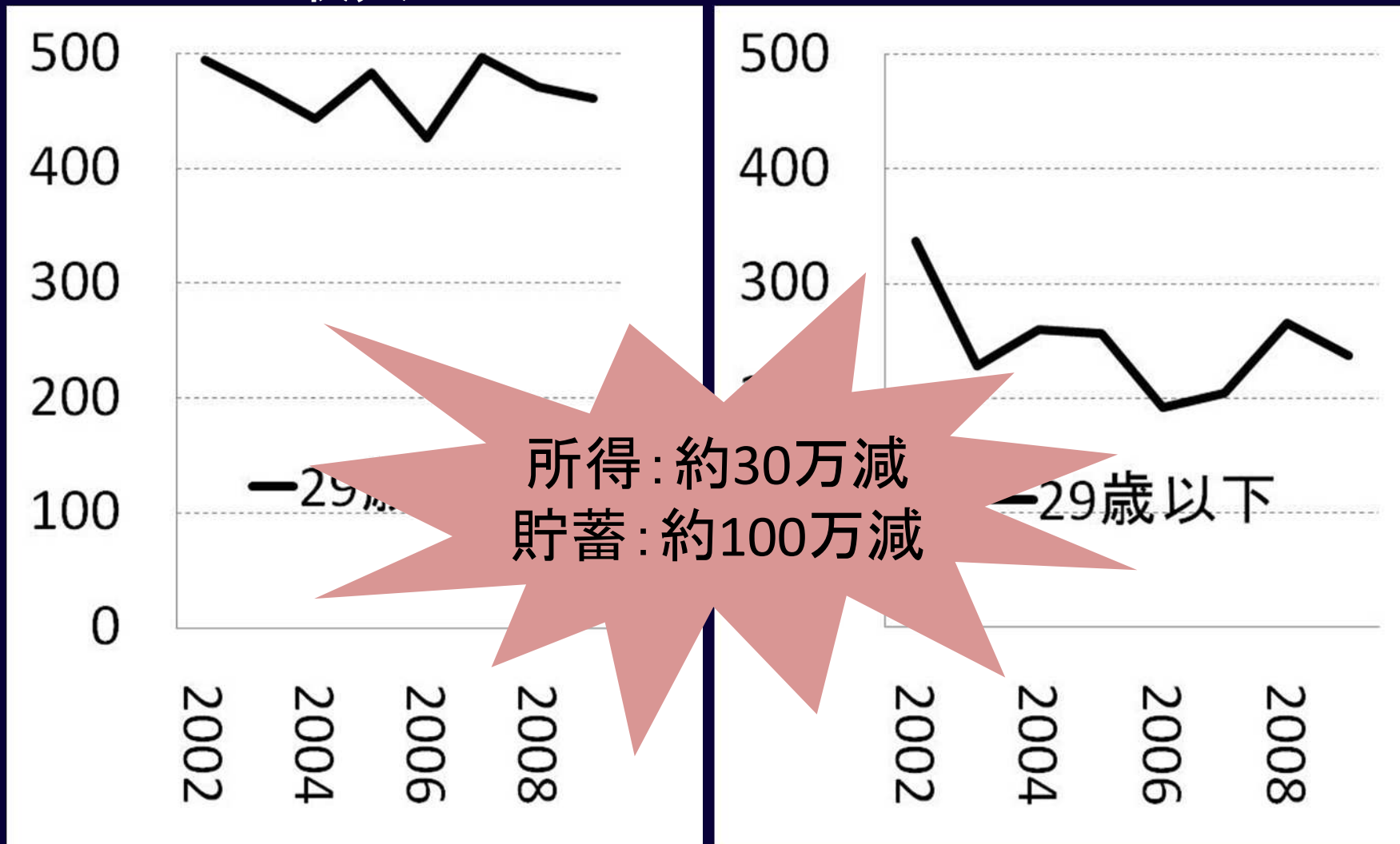


3. 3 観光活動促進要因の分析

(1) 経済的問題

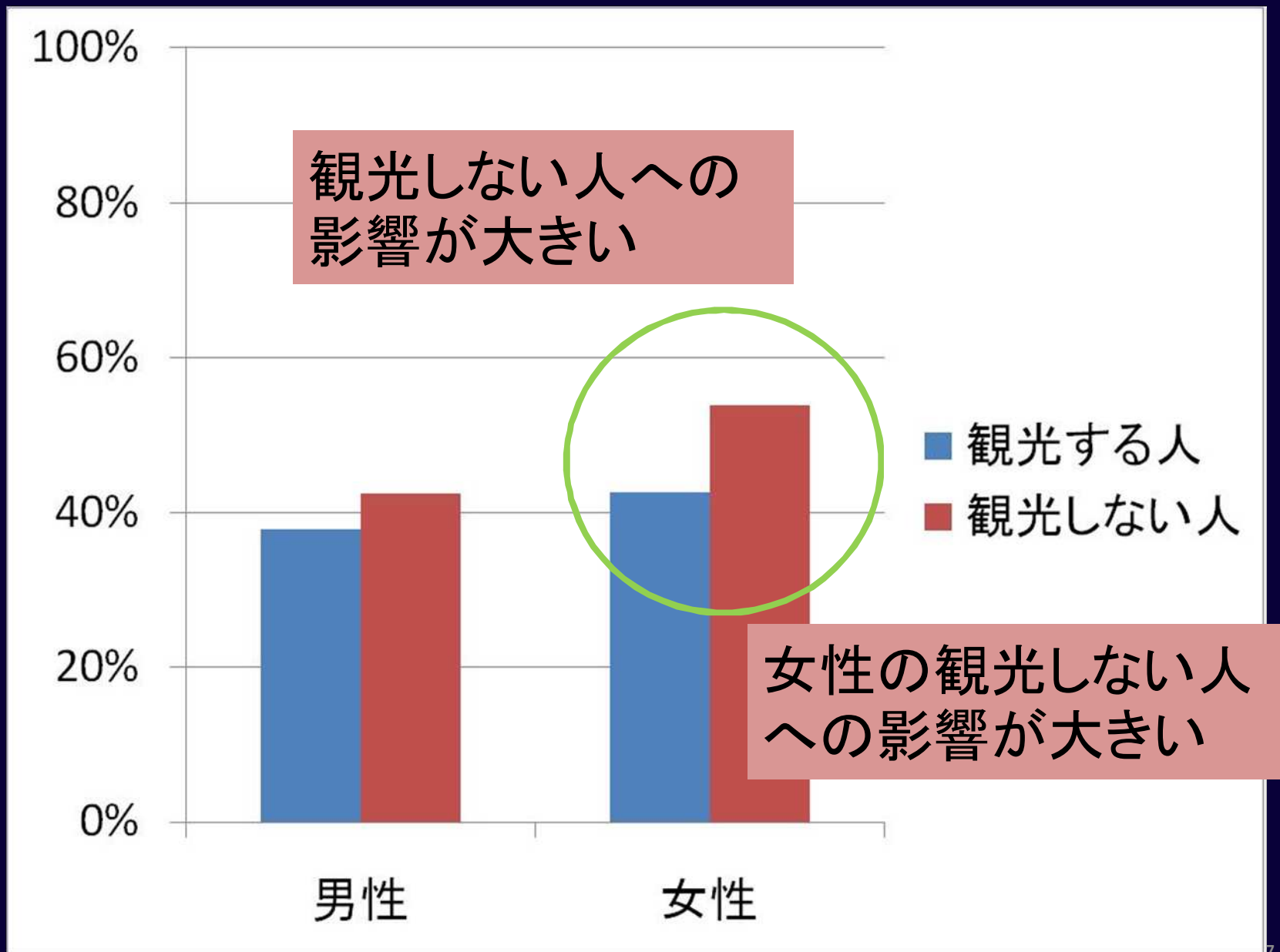
経済状況：家計調査(勤労2人世帯：29歳以下)
収入 貯蓄

収入・貯蓄額(万円)



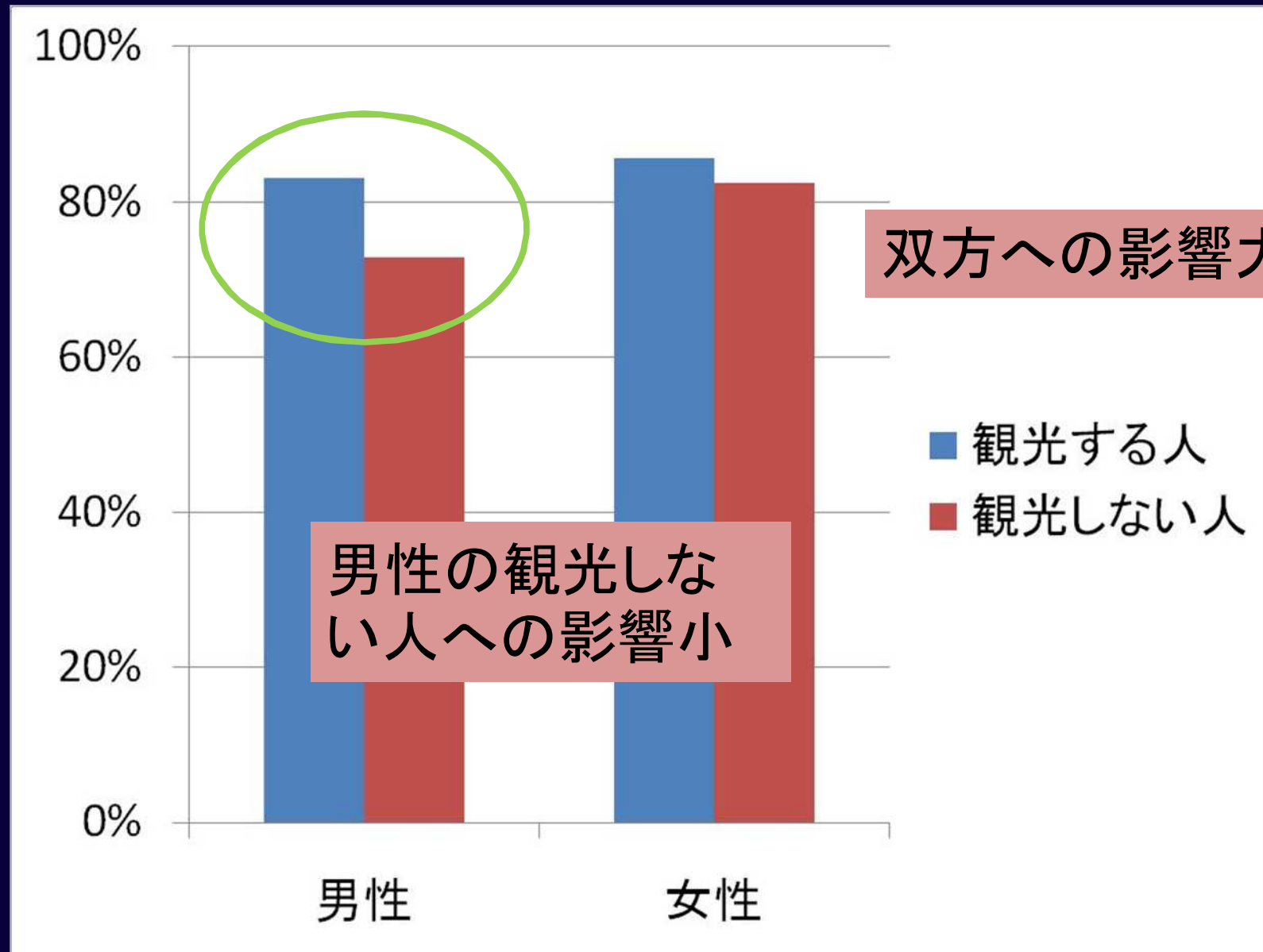
分析1（観光が減った理由）：【所得】

回答者の割合（％）



分析2(観光を増やす理由)【所得】

回答者の割合(%)



分析1: 観光が減った理由

- ・観光しない人への影響を確認
- ・女性の観光しない人

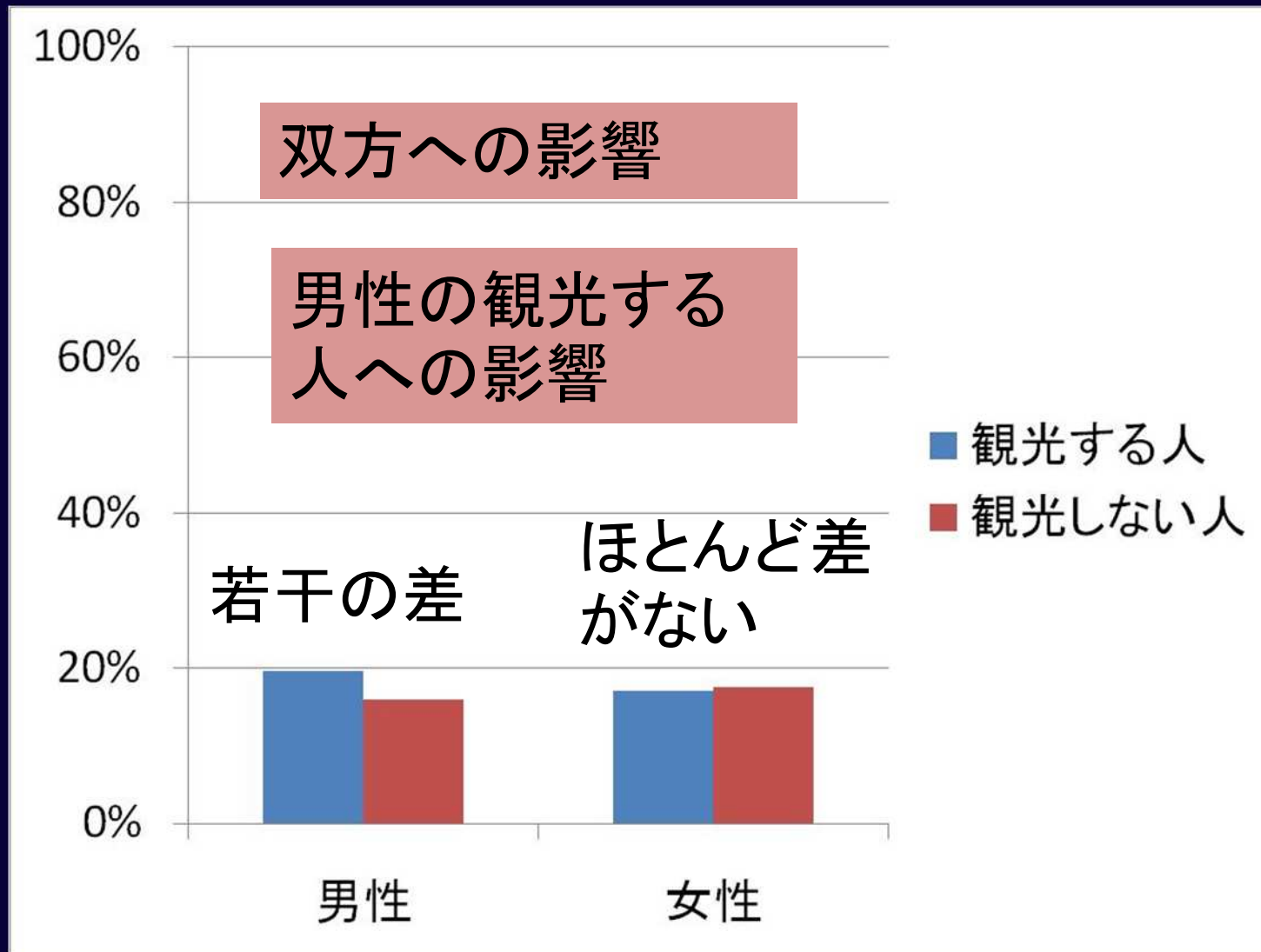
分析2: 観光が増加する理由

- ・所得の増加: 回答者の多くが1回増やす
→促進要因として重要
- ・男性の観光しない人への影響(小)

(2) 時間的問題

分析1 (観光が減った理由):【休暇】

回答者の割合(%)

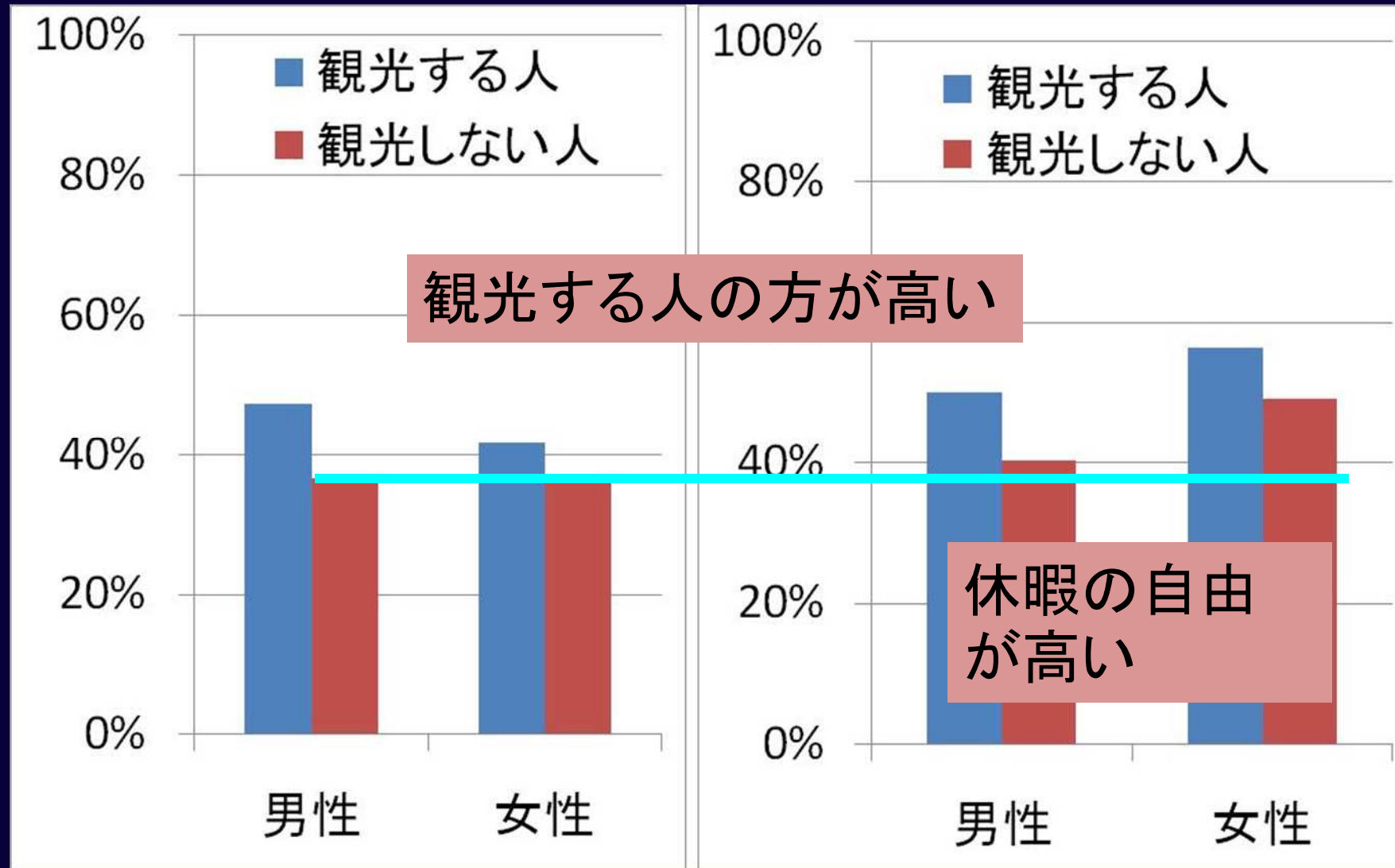


分析2: 観光を増やす理由【休暇】

休暇が増えること

休暇が自由にとれること

回答者の割合(%)



分析1：観光が減った理由

- ・観光する／しない人への影響
 - ・男性の観光する人、女性は差がない
- 休暇は観光する人にとってより重要

分析2：観光が増加する理由

- ・休暇の増加・自由：回答者の多くが1回増やす
- 促進要因として重要
-
- ・休暇の増加よりも休暇の自由

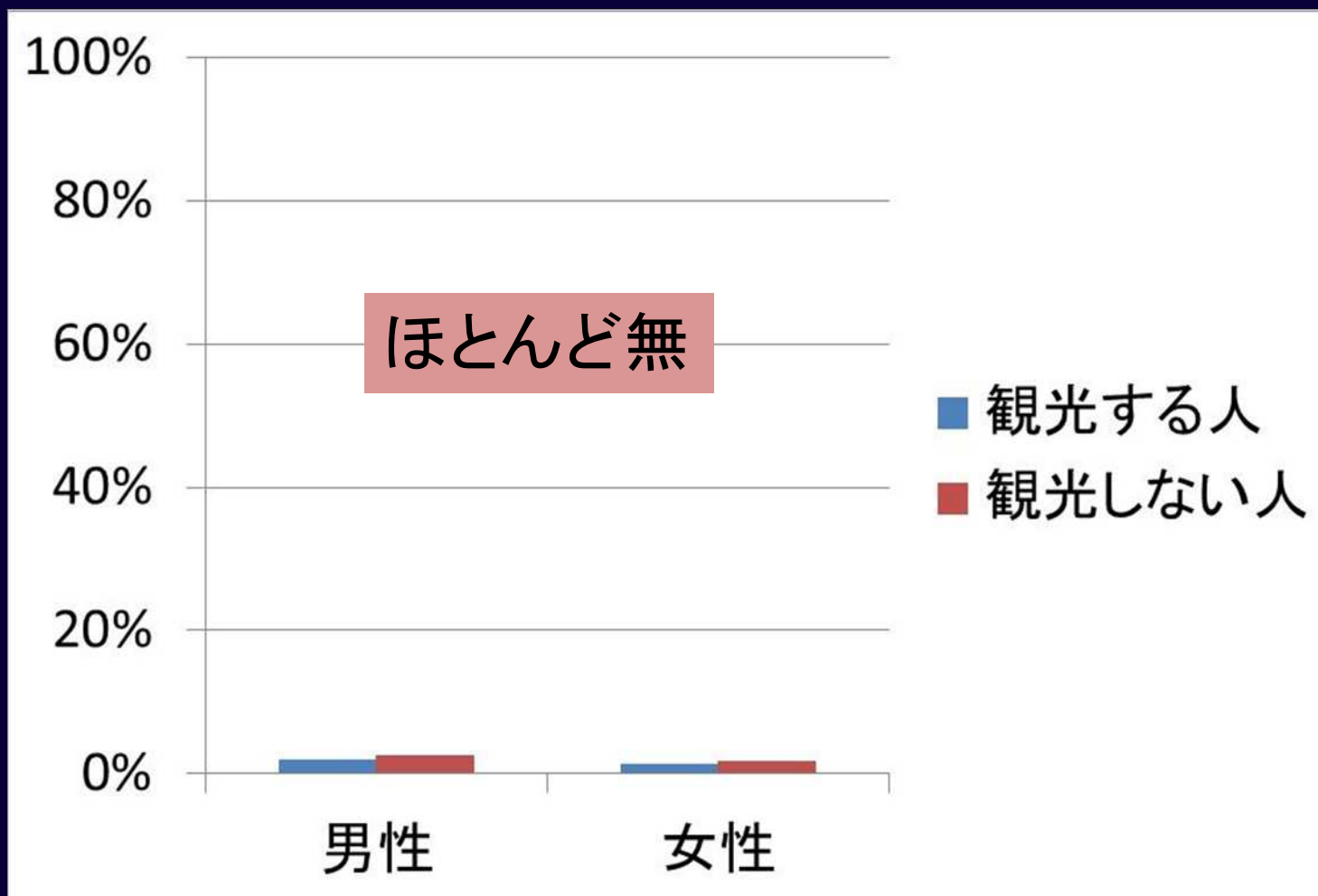
(3) 理由無という問題

↔ 同様の項目はないが・・・ **興味関心の問題**

分析1(観光が減った理由):【趣味】

『趣味が変わって回数が減った』

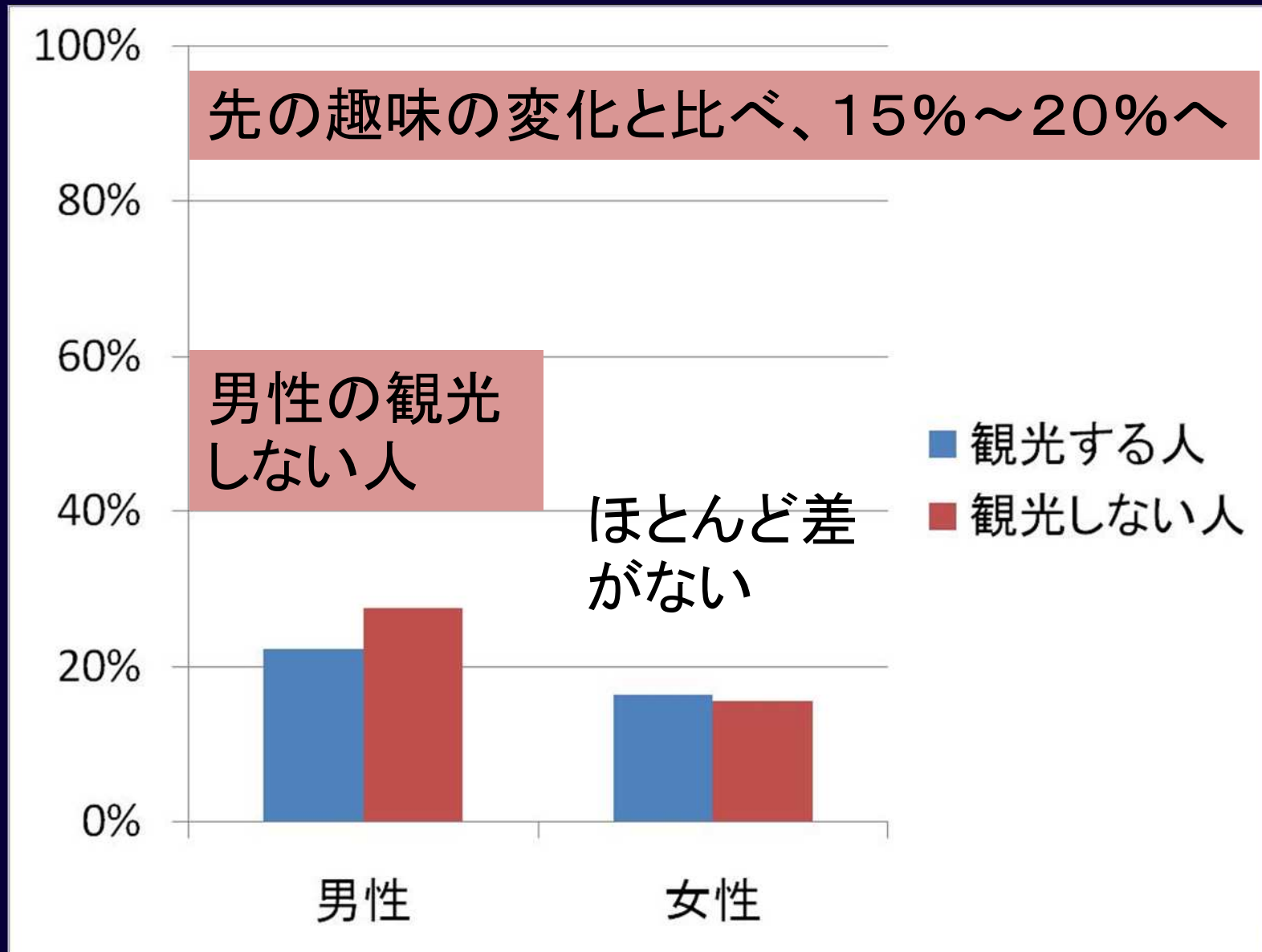
回答者の割合(%)



分析2: 観光を増やす理由【趣味】

『自分の趣味を行うためのよい場所がある』

回答者の割合(%)



分析1: 観光が減った理由

- ・特に影響なし

分析2: 観光が増加する理由

- ・伸び率が高い→一定の層へ影響
- ・男性の観光しない人

徳島「マチアソビ」



(4) 同行者の問題

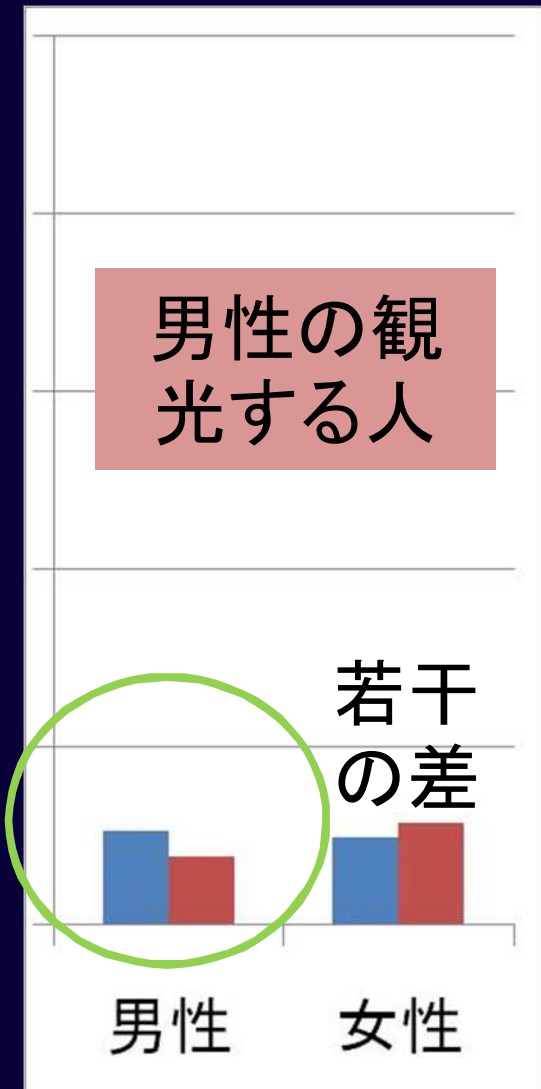
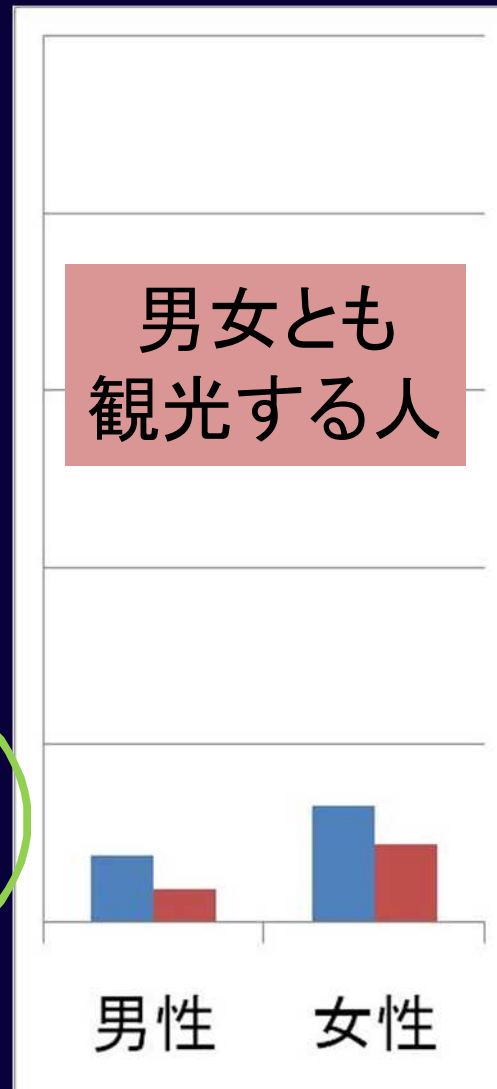
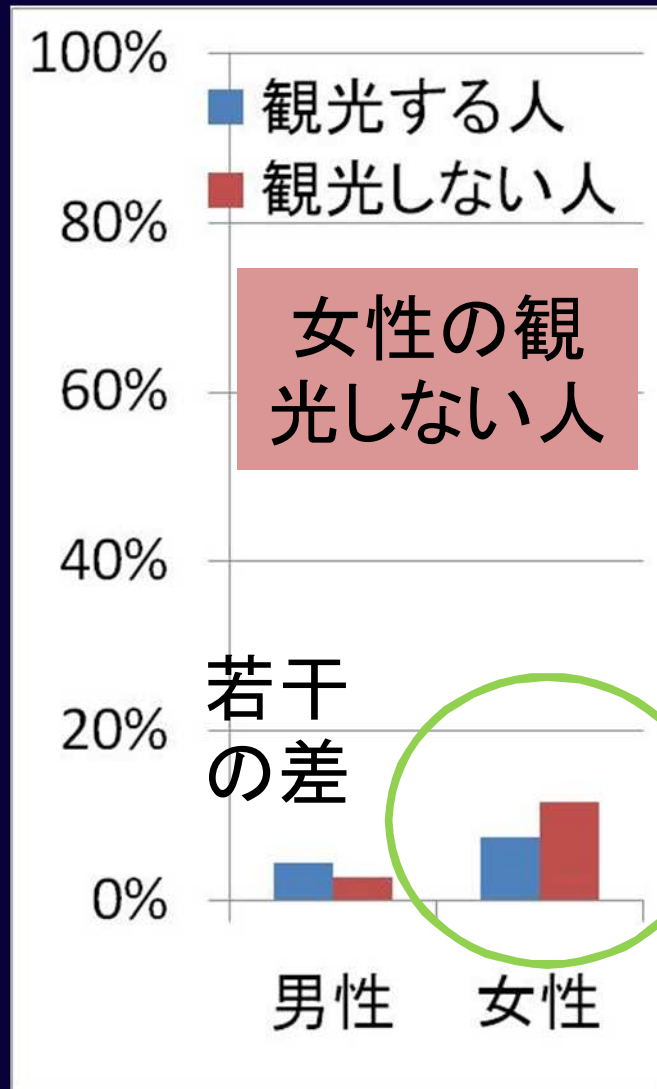
分析1 (観光が減った理由): 【同行者】

配偶者

子供

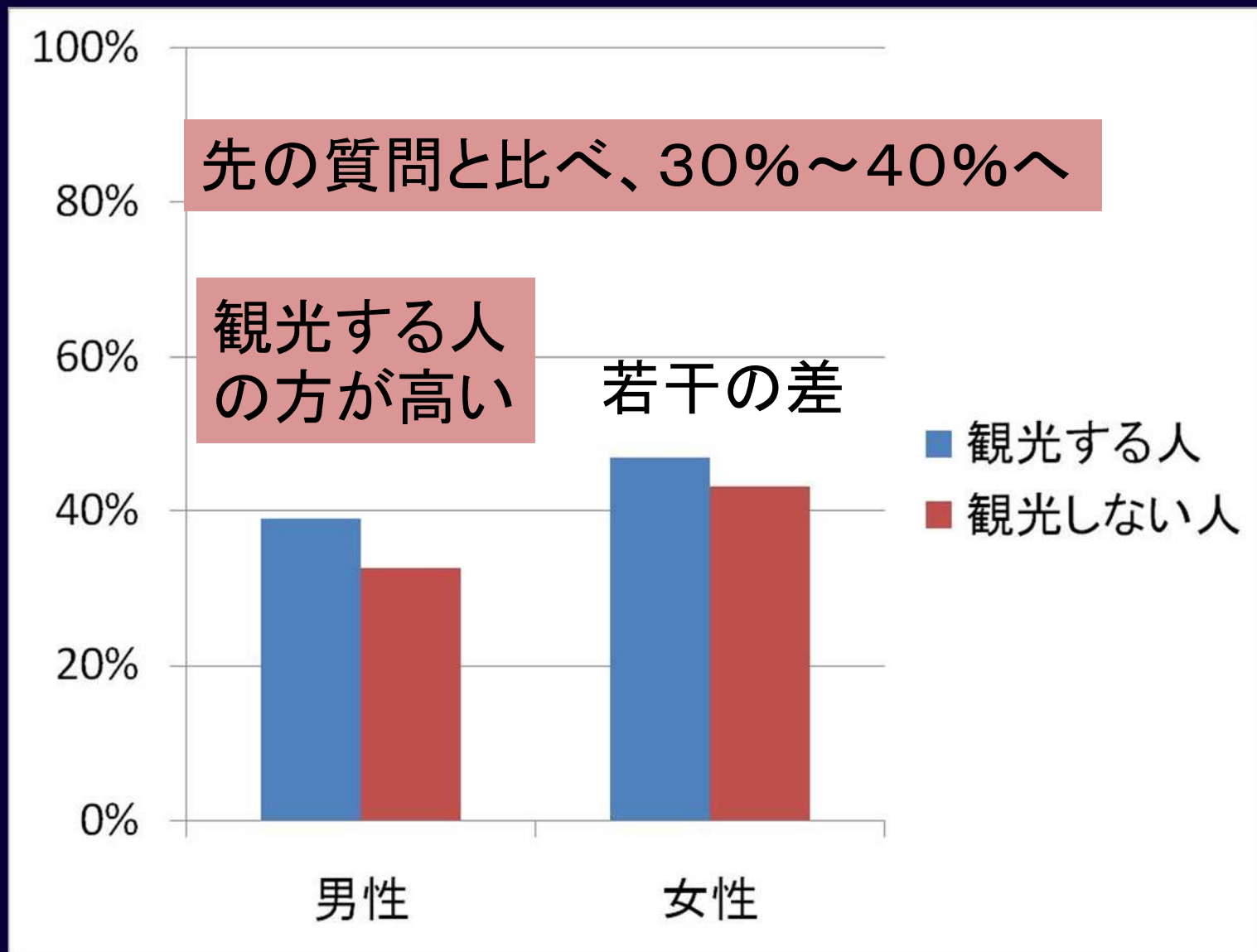
友人

回答者の割合(%)



分析2：観光を増やす理由【同行者】

回答者の割合(%)



分析1：観光が減った理由

- ・配偶者：女性の観光しない人
- ・子供：男女とも
- ・友人：男性の観光する人

分析2：観光が増加する理由

- ・伸び率が高い→一定の層へ影響
- ・男性の観光しない人



国内最大級の宿・ホテル予約サイト

[予約照会・変更・キャンセル](#) [マイページ](#)

宿・ホテル予約

航空券+宿

ツアー

レンタカー

高速バス

航空券

観光ガイド

海外

ホテル予約

[出張ビジネス](#) [温泉・露天](#) [高級宿](#) [日帰り・デイクース](#)

[予約TOP](#) > 一人旅

ようゲストさん (ログインは[こちら](#)) 会員登録・宿泊で代金をポイント還元♪ 会員限定の新着プランも見られます！ → [新規会員登録\(無料\)](#)へ

一人旅歓迎の宿に泊まろう



一人旅だからこそその出会いや感動を♪

いつかは一人旅に行ってみたい！でもなんかちょっと不安・・・そう思っているあなたにぴったりの「一人旅歓迎の宿」をご紹介します！
一人旅だからこそその出会いや感動を体験して♪

▼ 宿予約はこちら

地図から探す

▶ 北海道

県名で探す

[検索](#) [一人旅おすすめ](#) [一人旅おすすめ男](#) [一人旅国内](#) [一人旅女性](#) [台湾一人旅](#)

[ヘルプ](#)

インターネット

A 般 100% CAPS KANA



◎お知らせ
ブロッガー・レポーター・
ライターetc・緊急大
募集!

[世界の都市地図リニュー
ーアル!](#)

JAPAN AIRLINES

夏休み
先得
お盆期間も
設定あり!!

ツアーメイト募集 - Tour mate -

お待たせいたしました。しばらくお休みしていた本掲示板ですが、スパム対策を施してついに**復活**しました。
皆さんまた「ツアーメイト募集掲示板」使ってくださいね!!

ツアーに同行する際には旅行内容や申し込み先を明確にし、トラブルのないようお願いいたします。



○ 新規書き込み

2011/07/17(Sun) 10:45:14

記事No.4948

名前	hiro	出発地	
年齢	20代後半	予定時期	9月中旬から一週間
性別	女性	掲載期限	
電子メール	555hiro30516hiro@yahoo.co.jp	方面	ヨーロッパ
職業	会社員		

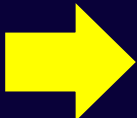
9月中旬から一週間程イタリアへの旅行を計画しています。
もし都合がつきそうであればお願いします。
女性の方でしたら年齢は問いません。ノンスモーカーの方希望ですが、喫煙される方でも構い
ません。よろしくお願いします。

■リスクの問題の発生

- ・見知らぬ人と行くリスク
～犯罪者との旅行することになる、など
- ・一人旅のリスク
～犯罪に巻き込まれる、など

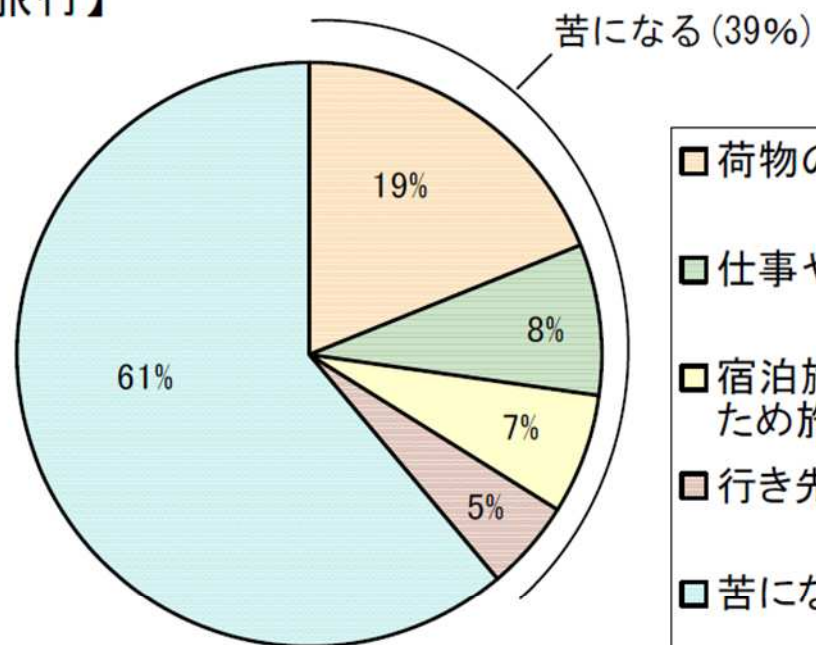
大分女性看護師殺害事件

2010年9月4日、大分県別府市明礬(みょうばん)の雑木林で若い女性の遺体発見。1日から車が放置されていると届け出があった。女性は神戸市の看護師女性(28)と判明、首を絞められたことによる窒息死と断定された。女性は近くの露天温泉との往復時に殺害されたとみられている。

 運営に関するガイドラインの設計・信頼性の向上

(5) 計画が面倒くさいという問題

【国内旅行】



□ 荷物の準備が面倒

□ 仕事や学校の休暇をとるのが大変

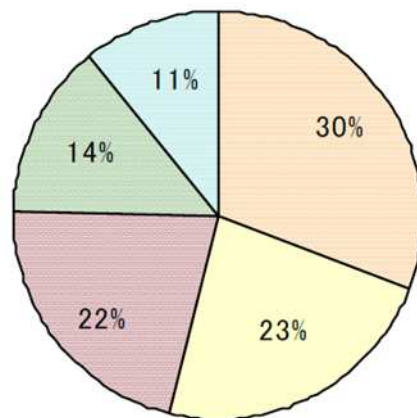
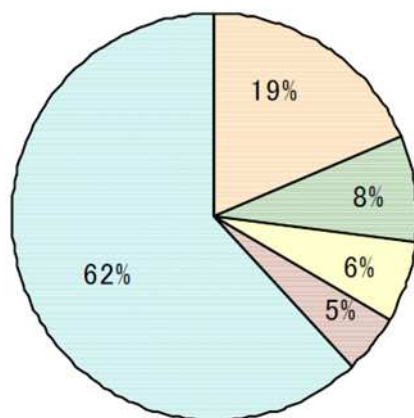
□ 宿泊施設の予約や、交通手段の手配、手続きのため旅行会社に行くのが面倒

□ 行き先などの計画を立てるのが面倒

□ 苦にならない

旅行が好き

旅行が好きでない

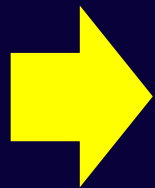


JTBレポート

①企業側の問題 旅行計画の立案の簡略化の問題

②消費者側の問題 計画的な行動に慣れないのではないか？という問題

観光する人＝計画的な行動をする人？
観光しない人＝計画的な行動をしない人？

 子供のころからの(自主的に)計画的な行動
をとる人材育成の重要性

『以下のそれぞれのところ(＊)の休日・休暇の過ごし方をお答え下さい。』(観光庁)

＊ 結婚前、学生等の時代、子供・小学生時代

- ・家の外で過ごすことが多かった
- ・計画的に行動をしていた
- ・一人で過ごすことが多かった
- ・平日よりも早く起きていた、など

標本数	観光をする人	しない人
男性	子供:456	子供:450
	学生:316	学生:290
女性	子供:554	子供:547
	学生:368	学生:331

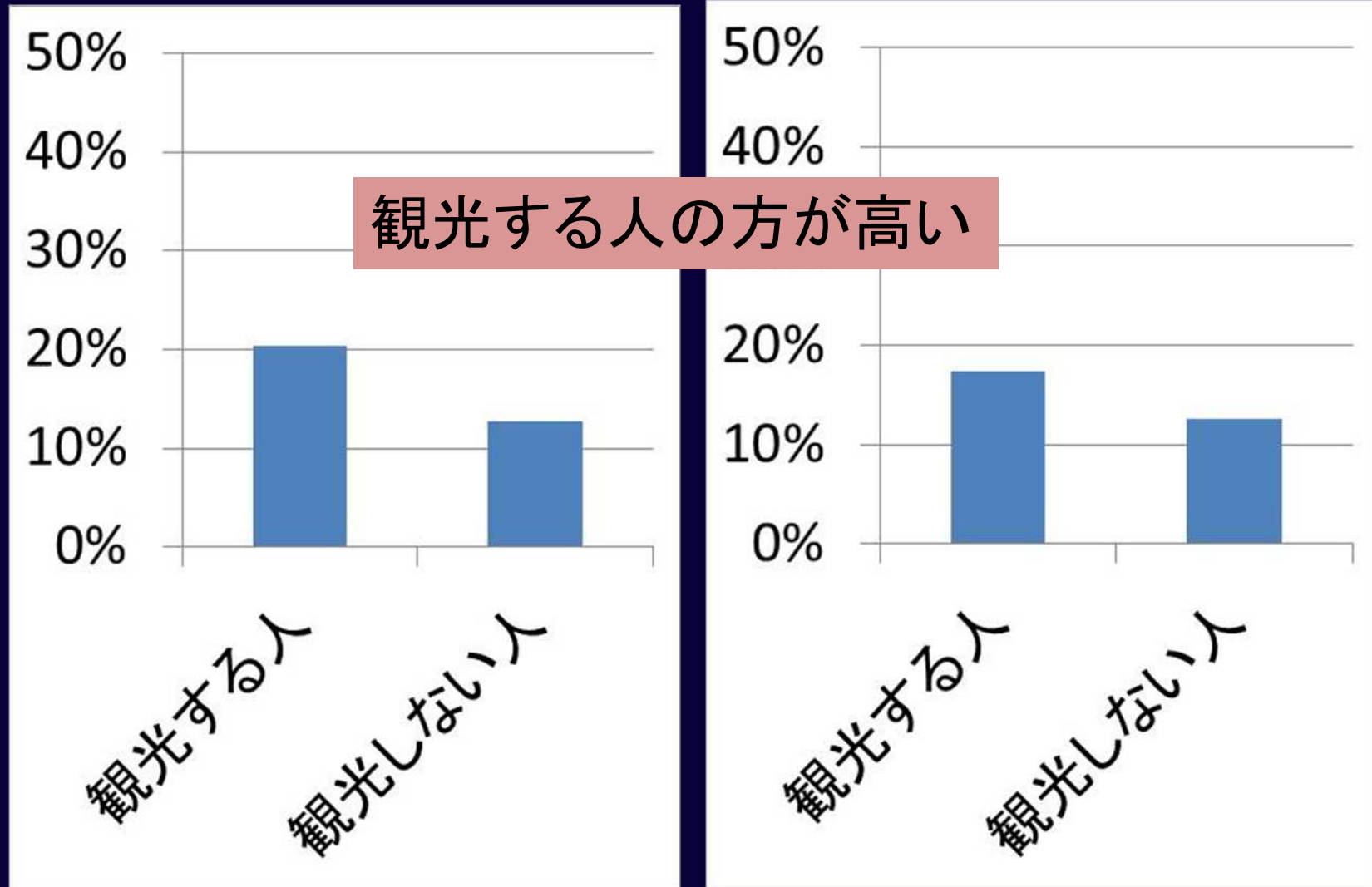
＊ 標本集団が異なるため先の結果との比較はできない

子供時代

男性

女性

回答者の割合(%)

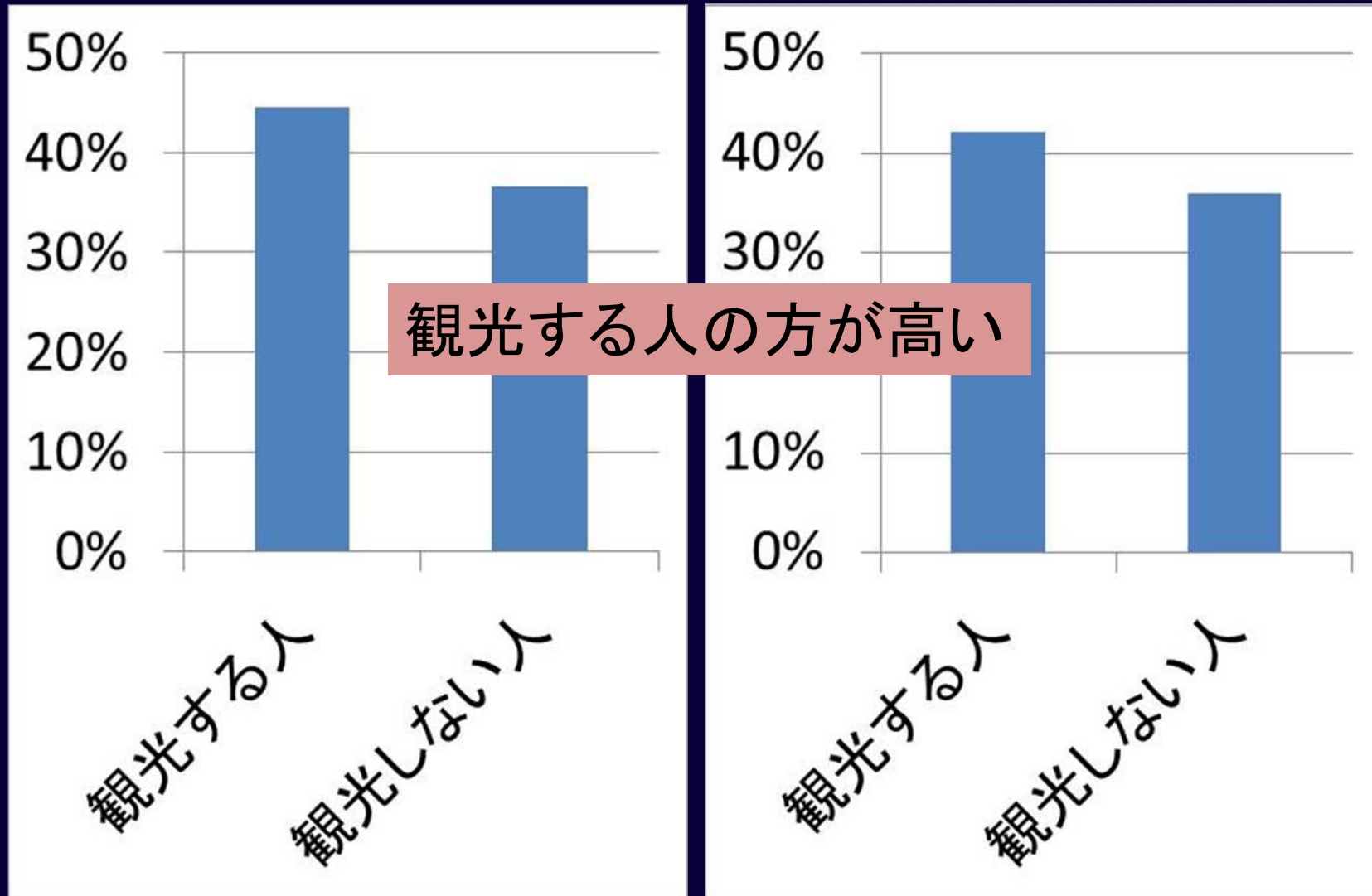


学生時代、大学、短大など

男性

女性

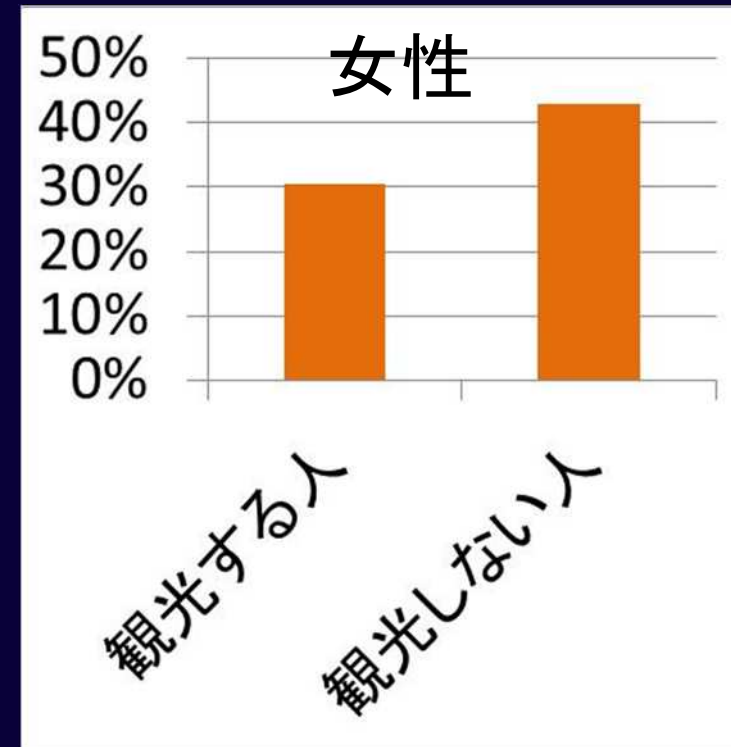
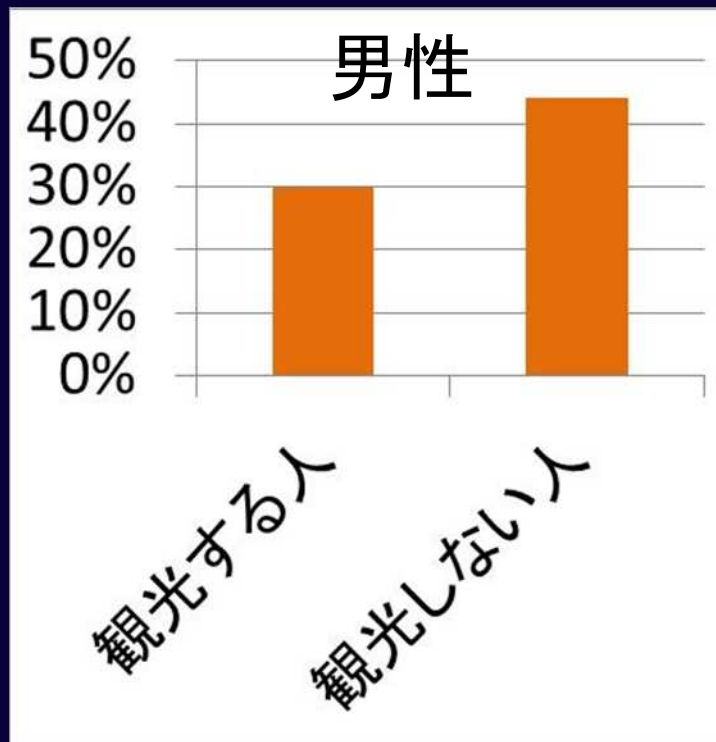
回答者の割合(%)



観光する人＝計画的な行動をする傾向
観光しない人＝計画的な行動をしない傾向

➡ 子供のころからの計画的な行動になれる
学生時代『一人で過ごす時間が多かった』

回答者の割合(%)



➡ 他者との連携を想定した計画性

4. 本研究のまとめ

1) 全体的な傾向の分析

- ・観光活動減少要因: 所得、休暇
- ・観光活動増加要因: 所得、休暇、同行者、趣味

2) 観光する人／しない人 & 男女別の分析

分析1: 観光活動減少要因

- ・所得: 双方へ影響、女性の観光しない人
- ・休暇: 双方へ影響、男性の観光する人
- ・趣味: ほとんど無
- ・同行者
 - 配偶者: 観光しない女性
 - 子供: 双方に影響
 - 友人: 観光する男性

2) 観光する人／しない人 & 男女別の分析

分析2: 観光が増加する理由

- ・所得: 双方へ影響、男性の観光する人
- ・休暇: 観光する人、男性の観光する人、休暇の自由
- ・趣味: 男性の観光しない人
- ・同行者: 双方へ影響、男性の観光する人

3) 計画性

- ・(他者との連携を想定した) 子供のころからの計画性

■ まとめ

- ・観光する人: 所得、休暇等の影響が大きい
 - ・観光しない人: 加えて、趣味、同行者、計画的行動への慣れといった付加的条件
- ～課題: システム上のリスク 例) 一人旅の事例

ご清聴ありがとうございました